

今後のエコービュー開発について

エコービューは今後も絶えず開発を続け新規のバージョンを6ヶ月毎に提供していきます。エコービューを購入いただきますと購入後12ヶ月の新規更新を含みますがそれ以後は Echoview Upgrade and Support Agreement (EUSA) をソナーデータ社から追加購入いただきます。

以下は2004年11月にリリース予定のバージョンです。

- Version 3.25
- Version 3.30

Version 3.25 (リリース予定の日付: 2004 11 月)

Echoview3.25は2004年11月にリリースする予定です。それに従い、以下の新機能と機能強化は開発中であります。

- サポートされている計量魚探機からのデータのストリームライン(Steamline)の視覚化と分析。以下のことが用いられる。
 - 新しい Virtual 演算子を用いて、ダイナミック的に雑音を正確に削除することができる。
 - Echoview におけるウィンドウ Layout は保存し、自動的に回復する。Echoview は作業しているセッションを保存している。
 - 新マルチビーム背景削除演算子を用いて、マルチビームデータにおけるムーヴィングターゲットタケット(Moving target)を探知する。
 - より効率的にデータ質をコントロールするために画面に per-ping statistics(ピング毎の統計値、例えばピングの平均 SV、最大 SV など)を表示する。
 - 新 Virtual 演算子を用いて魚群を含む領域において、全てのサンプルに統計値が応用できる。
 - 外部の ASCII ファイルから角度データを Import することで、角度データの Export、再サンプル、再 Import が簡単になり Split ビーム魚探機によるデータからのシングルタケットを探知する際に有効である。
 - 変数ウィンドウ (Variables window) を強化して、変数、送受信器、Platform の間の関係を理解易しくする。
 - マルチビームエコーグラムを自動 synchronize する。
- サポートする計量魚探機とファイルフォーマットをより増やす。バージョン 3.25 からは、Echoview は以下を読んで用いることができる。
 - HTIファイルフォーマットを強化サポートするバージョン
 - Simrad EM3002 マルチビームソナーから Log される同じ角度を持つビーム(equiangular beam geometry)による海水柱データ (Water column data)
 - バージョン 3.20 で可能になった4つ以上の送受波器を持つ Simrad ファイルをサポートす

る機能を拡張して、4つ以上の送受波器のデータを含む Simrad *.ek5, *.DG and *.DGn data files もサポートする。

Version 3.30

バージョン3.30のリリースはまだ開発的には今後計画されている機能搭載予定の初期段階でこれから数多くの機能拡張が予定されています。各地域のエコービューユーザーにまず3.20、3.25の機能を理解いただいてから次のステップへのコンサルティングを行っていきます。

Echoview 3.30のために、機能リストを選ぶために、皆様の提案と要求を分類しています。もうそろそろリストが決定的になりますが、皆様の提案とアイデアを support@sonardata.com まで送ってください。

このページの計画は通知なしに変更することがあることに注意してください。